

「スタディプロモーションチーム」発足の経緯

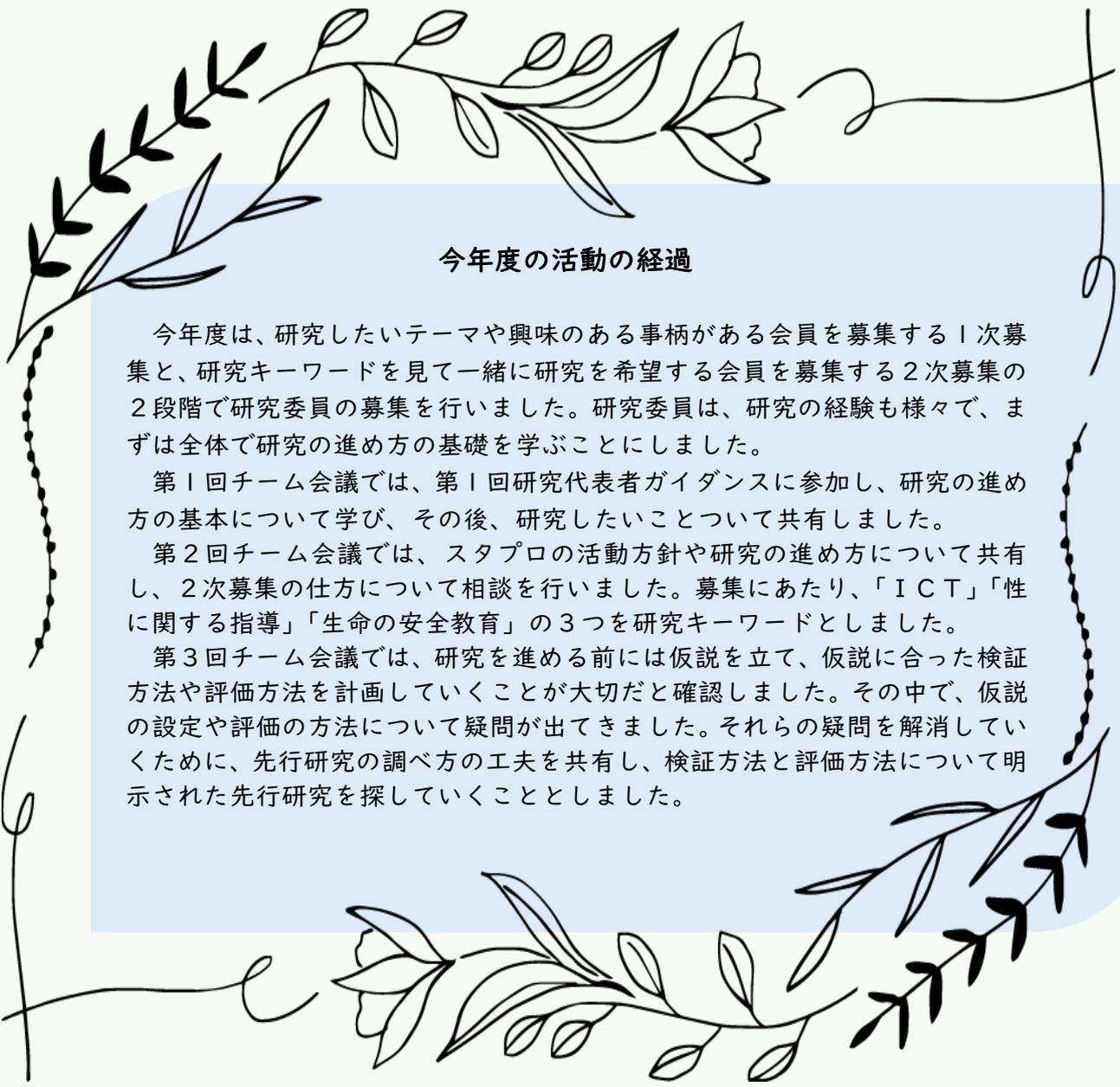
目まぐるしく変わる社会環境や生活様式は、子どもたちの心身の健康に大きな影響を与え、健康課題が複雑化・多様化しています。そのような中で、健康課題の解決に向け、これまで本研究会において公募研究が進められてきました。公募研究の研究成果から研究会会員は多くのことを学び、その学びは校務を進めていくうえで心強い後押しとなりました。

しかし、「多忙な執務の中、今後これまで通りに進めていくことが困難な状況にあるのではないか」という課題が明らかになり、公募研究の在り方について検討を行うこととなりました。令和4年度は研究会会員の中から検討会参加者を募り、計4回の検討会を経て、令和5年度から新たな形で研究委員公募による共同研究を進めていくこととなりました。

活動の概要

今年度、新たな形でスタートする公募による共同研究を『スタディプロモーションチーム（以下、スタプロ）』という名称としました。スタディプロモーションとは、すなわち「学びを推進する」という意味であり、昨年度まで取り組んできた公募研究から発展的に形態を変え、支部や校種を越えた研究委員公募による自主的な共同研究を指し、研究活動を通して共に学び、深めながら、自身の力量の向上と研究の推進を目指すことを目的としています。そのため、研究テーマを一つに絞らず、研究委員で研究テーマを決め、テーマごとに研究グループを作り、養護教育研究会の研究方針に沿って研究の進め方を学びながら、研究を行うこととしました。





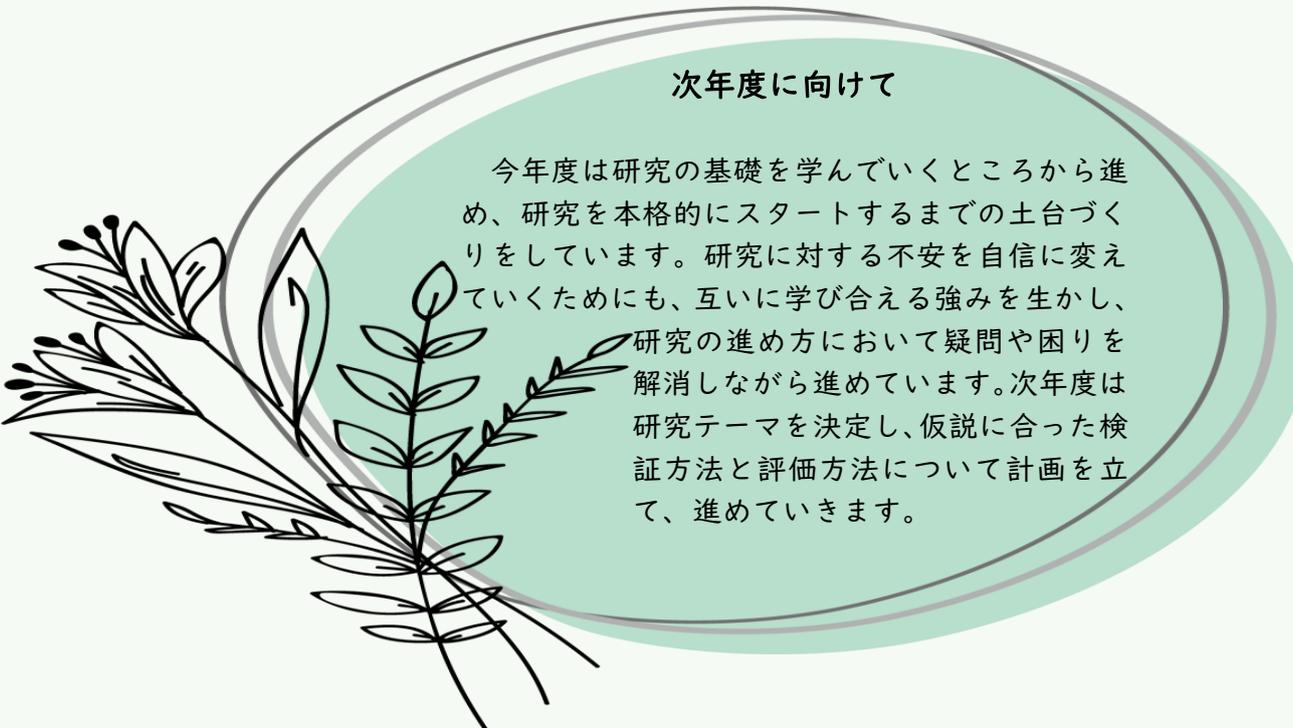
今年度の活動の経過

今年度は、研究したいテーマや興味のある事柄がある会員を募集する1次募集と、研究キーワードを見て一緒に研究を希望する会員を募集する2次募集の2段階で研究委員の募集を行いました。研究委員は、研究の経験も様々で、まずは全体で研究の進め方の基礎を学ぶことにしました。

第1回チーム会議では、第1回研究代表者ガイダンスに参加し、研究の進め方の基本について学び、その後、研究したいことについて共有しました。

第2回チーム会議では、スタプロの活動方針や研究の進め方について共有し、2次募集の仕方について相談を行いました。募集にあたり、「ICT」「性に関する指導」「生命の安全教育」の3つを研究キーワードとしました。

第3回チーム会議では、研究を進める前には仮説を立て、仮説に合った検証方法や評価方法を計画していくことが大切だと確認しました。その中で、仮説の設定や評価の方法について疑問が出てきました。それらの疑問を解消していくために、先行研究の調べ方の工夫を共有し、検証方法と評価方法について明示された先行研究を探していくこととしました。



次年度に向けて

今年度は研究の基礎を学んでいくところから進め、研究を本格的にスタートするまでの土台づくりをしています。研究に対する不安を自信に変えていくためにも、互いに学び合える強みを生かし、研究の進め方において疑問や困りを解消しながら進めています。次年度は研究テーマを決定し、仮説に合った検証方法と評価方法について計画を立て、進めていきます。